

平成22年度岡山空港利用実績について

平成22年度の岡山空港の利用者総数は、国内線で札幌線や沖縄線、国際線で上海線やグアム線の利用者が増加したものの、東京線の東日本大震災の影響などによる減少や鹿児島線の運休により、前年度に比べて10,968人減少し、1,309,706人（前年度比0.8%減）となり、搭乗率は65.8%であった。

区分		利用者数 〈人〉	前年度比 〈人、(%)〉	搭乗率 〈%〉	前年度比 〈ポイント〉
路線名					
国内	東京	907,693	▲ 19,855 (▲ 2.1)	64.2	▲ 4.2
	札幌	69,421	10,281 (17.4)	70.4	▲ 0.6
	鹿児島	13,896	▲ 10,440 (▲ 42.9)	45.6	▲ 1.6
	沖縄	86,773	3,859 (4.7)	72.2	4.0
	小計①	1,077,783	▲ 16,155 (▲ 1.5)	64.8	▲ 3.0
国際	ソウル	111,000	▲ 15,220 (▲ 12.1)	82.3	21.3
	上海	69,839	13,832 (24.7)	63.6	11.6
	グアム	16,307	2,827 (21.0)	59.5	15.4
	北京・大連	21,859	▲ 135 (▲ 0.6)	53.4	▲ 2.3
	小計②	219,005	1,304 (0.6)	70.0	13.4
定期路線計(①+②)		1,296,788	▲ 14,851 (▲ 1.1)	65.6	▲ 0.1
チャーター便計		12,918	3,883 (43.0)	86.2	▲ 4.3
合計		1,309,706	▲ 10,968 (▲ 0.8)	65.8	0.0

国内定期路線

東京線や鹿児島線の利用者が減少し、1,077,783人となった。

・東京線

年間を通じたビジネス利用の伸び悩みに加え、3月11日に発生した東日本大震災の影響によりビジネスを中心に利用者が大きく減少したことから、前年度に比べて減少し、907,693人となり、搭乗率も4.2ポイント減少し、64.2%であった。

(参考：3月11日以降の利用者数は、36,650人であり、前年同期比37%減)

航空会社別の利用者数は、全日空が621,478人（前年度比3.4%減）、日本航空が286,215人（前年度比0.7%増）であった。また、定期路線利用者数に占める東京線の割合は0.7ポイント減少し、70.0%であった。

- ・札幌線

運航期間（5～10月）が前年度に比べて1ヶ月増加し、また、8月以降の利用も好調であったことから、利用者数が増加し、69,421人となった。

- ・沖縄線

5月の修学旅行など年間を通じて好調であったことから、利用者数が増加し、86,773人となった。

国際定期路線

上海万博（5～10月）の開催や円高による海外への旅行者が増加したことなどにより、利用者数が増加し、219,005人となり、2年連続で20万人を超えて開港以来最高となった。

- ・ソウル線

運航する機材が小型化され、年間の利用者数は111,000人と減少したが、搭乗率は80%を上回り、21.3ポイント増加するなど、概ね好調であった。

- ・上海線

上海万博の開催時は前年同期比で36%増となるなど、利用者数が大幅に増加し、69,839人となった。

- ・グアム線

昨年度は大きく減少（▲2,639人）したが、円高などにより観光旅行者数が回復し、16,307人となった。

- ・北京・大連線

冬期利用者の減少に伴う欠航などの影響により、利用者数が減少し、21,859人となった。

チャーター便

ほとんどが国際チャーター便（85便、12,645人）であり、インバウンドとしては、台湾、韓国などから39便、また、アウトバウンドとしては、韓国、台湾、パラオ、スイス、ハワイなどへ46便が運航された。国内チャーター便を含めた全体では、87便、12,918人の利用者数であった。（前年度：57便、9,035人）